

持続可能な社会の実現へ

ウイスソル
代表取締役社長

外輪 純久



新年明けましておめで

とうございます。旧年中は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年の干支は「癸卯」、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年」とも言われています。新型コロナウイルスの影響、環境問題、経済環境の変化など様々な課題が山積しており、日々研鑽を重ね皆様と共に安定した社会基盤構築のため、活動する年に致します。

①「ソリューション力の強化」
老朽化するインフラ設備の増加、脱炭素に伴い主要なエネルギーが変化して行くなか、暮らしを支える各種インフラ設備が安心・安全に稼働して行く為の設備診断業務はニーズが高まるばかりです。特に配管検査技術の高度化は喫緊の課題です。様々な技術的課題にしっかりと向き合い技術革新を進め、必要とされる装置開発・IT技術を実装し社会へ貢献して行きます。

②「DXの推進」
検査によって得られた各種最新データを、様々な顧客設備データと結びつけ、老朽化が進む顧客設備の保守管理に活かす設備の信頼性と効率化を高めるため、継続したテーマとして取り組んで行きます。

③「人材育成の強化」
あらゆる場面で活躍できる人材の育成は、継続したテーマとなります。検査技術の革新は日々進んでいますが、人材も日々スキルアップを図る必要があります。優れた検査員、これを束ねるリーダー、統括して行く管理者、各階層の育成教育を力強く進めて行きます。

④「社会への貢献」
昨年4月に持続可能な社会の実現に貢献する事を目標に、グループ企業3社と共に、SDGs宣言をおこないました。大きなテーマとして①日本のものづくりを支え「守る」②信頼・努力・安全③ヒューマンスキルの研鑽④地域社会の発展とものに——となります。

これらの取組を進める事で社会に貢献して行く所存です。
最後になりますが、今年も皆様のより一層のご協力を仰ぎながら、今

年も「無事故」「無災害」で一年を乗り切って行きたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。